

2020年12月18日

太平洋工業株式会社
ピーアイシステム株式会社

「マルチセンシングロガー」開発に関するお知らせ

太平洋工業株式会社（本社：岐阜県大垣市、代表取締役社長：小川信也）と、ピーアイシステム株式会社（所在：岐阜県大垣市、取締役社長：栗田雅隆）は、TPMS（※1）で培った無線通信技術やセンシング技術を活用し、位置情報と同時に温度や衝撃などの環境情報をセンシングし、データをクラウドからリアルタイムに監視できる新製品「マルチセンシングロガー」を開発いたしましたので、お知らせいたします。

記

<特徴・詳細>

近年、医薬品における GDP（※2）ガイドラインや、食料品における HACCP（※3）管理手法で、製造および流通過程において、温度などを含む品質管理が求められるようになってきました。

このマルチセンシングロガーは、温度、湿度、照度、衝撃、気圧、GPS の計測を同時に行い、そのデータは LTE 網を利用しクラウドに格納できます。計測可能な温度帯は、マイナス 80℃～プラス 80℃で、ワクチン輸送などで必要なマイナス 70℃の温度帯での運用も可能であり、超低温環境下での輸送、管理にも活用することができます。

飛行機輸送時など LTE 網が利用できない環境下においては、自動的に本体メモリへ記録するロギングモードで本体にデータを保管していきます。クラウドのデータは、Web システムで閲覧可能であり、また API（※4）を公開しておりますので、お客様システムからデータ活用も可能となります。

医薬品や食料品、精密機械の輸送時に、本マルチセンシングロガーを輸送品ごとにセットすることで、トラック輸送から鉄道輸送、空輸まで、出荷から納品までのすべての経路において、荷物がどこに、どんな状態で管理されているかリアルタイムで把握することができ、各種規制や品質管理、安全管理において、証跡として利用されることとなります。

本製品は 2021 年 4 月、医薬品、食料品物流業界への販売を計画しております。

※1：Tire Pressure Monitoring System（タイヤ空気圧監視システム）の略称

タイヤの空気圧や温度をセンサーで直接測定し、その情報を無線で送り異常を知らせるシステム

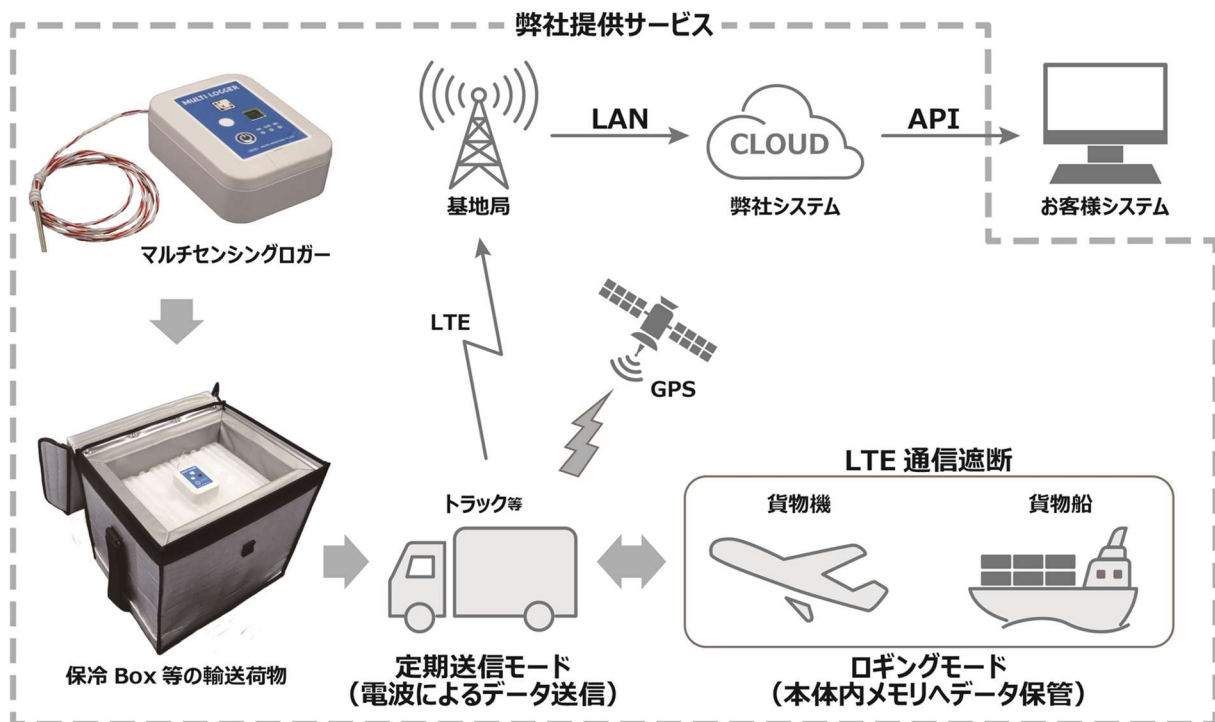
<https://www.pacific-ind.co.jp/products/car/tpms/>

※2：Good Distribution Practice 輸送・保管過程における医薬品の品質を確保することを目的とした国際基準

※3：Hazard Analysis and Critical Control Point 食品を製造する際に工程上の危害を起こす要因を分析し、それを最も効率よく管理できる部分を連続的に管理して安全を確保する管理手法

※4：Application Programming Interface アプリケーションを構築および統合するために使われるツール、定義、プロトコル

<システムの概要>



太平洋工業株式会社

太平洋工業は、グローバルで自動車用プレス・樹脂・バルブ製品等の開発・製造・販売を行っています。車体の軽量化・高剛性化を実現する超ハイテン材を用いたプレス製品、世界シェア 50%と業界トップを誇るタイヤバルブ等を生産し、国内唯一の TPMS 送信機メーカーとして高い信頼を得ています。長年培ったコア技術を活かし、SDGs などの社会課題を解決できる企業として、既存のビジネスモデルにとらわれない新製品・新規事業を創出していきます。

<https://www.pacific-ind.co.jp/>

ピーアイシステム株式会社

太平洋工業グループで培った IoT や AI、ソフトウェア開発のノウハウを最大限に活かし、最適なソリューションをご提供します。ハードウェアとソフトウェアが融合する次世代産業におけるキープレーヤーとして、太平洋工業と連携し、お客様の IT 基盤を支える新しい価値を創造していきます。

<https://www.pi-system.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ】

太平洋工業株式会社 技術開発部 松橋、牧村

TEL : 0584-93-0172

ピーアイシステム株式会社 営業部 河村

TEL : 0584-77-0560

Mail : sales@pi-system.co.jp